

市町村名		渡名喜村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①		環境保全・美化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
	担当部課名	民生課・経済課		事業実施(予定)年度		平成24年～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容		集落内及び観光地周辺の清掃美化、外来植物の駆除及び在来植物の保全育成を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	38,192	51,840	49,924	34,222	35,862
	(b) 予算現額	27,584	47,745	36,605	24,577	28,099	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 10,608	▲ 4,095	▲ 13,319	▲ 9,645	▲ 7,763	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	27,584	47,745	36,605	24,577	28,099	
	B. 執行済額	27,584	43,052	28,256	21,017	23,635	
	うち交付金充当額	22,067	34,441	22,604	16,813	18,908	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	90.2%	77.2%	85.5%	84.1%	
予算の状況の説明	執行状況を考慮し、146日分(7,763千円)を減額した。しかしながら、天候不順により作業日数が少なかったため、不用額4,464千円が出た。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	
	緑化及び美化活動実施箇所	目標	(28箇所)	(28箇所)	()	()	
		実績	28箇所	28箇所			
	外来植物駆除実施箇所	目標	(8箇所)	(8箇所)	()	()	
		実績	8箇所	8箇所			
	在来植物保全育成実施箇所	目標	(14箇所)	(14箇所)	()	()	
実績		14箇所	14箇所				
達成状況説明	前半28名、後半名を雇用し緑化及び美化活動として28箇所、外来植物駆除として8箇所、在来植物保全育成として14箇所実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	集落内及び観光地周辺の環境及び景観形成について、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業の在り方を検証する。	目標	()	()	(80%)	()	()
		実績			93.44%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	フェリーターミナルにて島外からの来島者に対するアンケート調査を行い、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じた観光客の割合は93.44%(集計対象期間H30.4～H31.3)であった。目標の数値を達成できていると考える。						

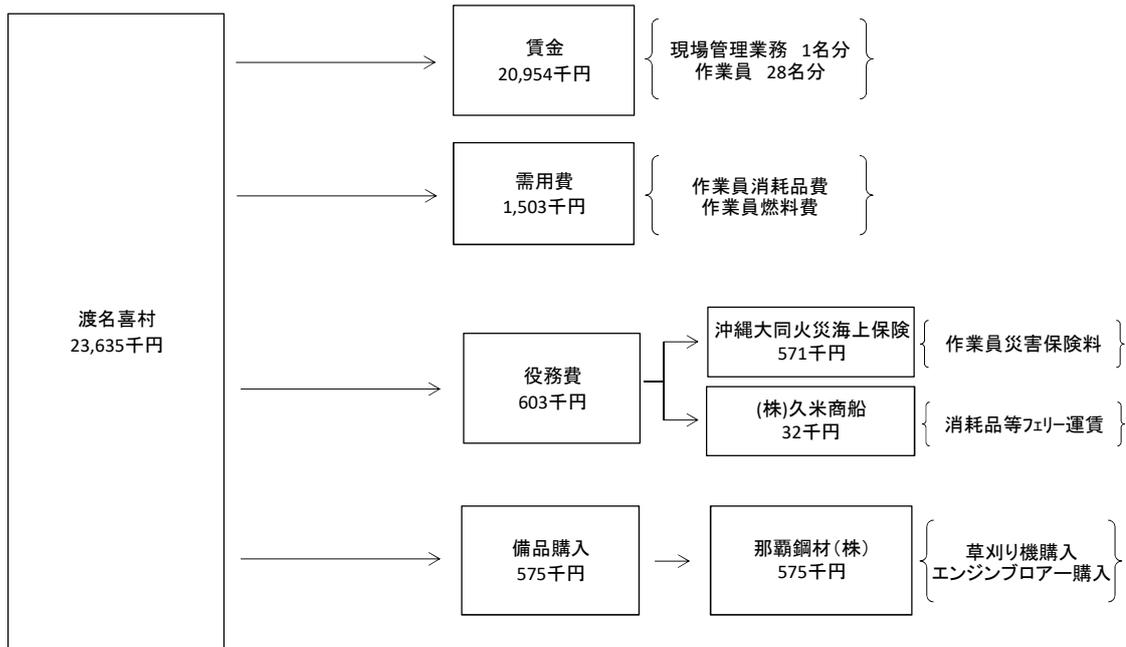
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 作業員の休みが多く出勤率が悪い。 夏場の外来植物等の駆除実施個所及び回数が増加(植物の成長が早まるため) 天候不良により作業日数が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 出勤率向上のための改善案 農業などと掛け持ちをしている作業員も多く、現在の雇用形態での出勤率向上は難しく改善の余地は無いと考える。 作業員の増員又は作業の効率化を進めていく方向で対応を検討する。 作業効率の改善 観光客等が増える季節は多く訪れる観光地を優先して実施する。 天候不良時の日数減への対応作業日数の調整手法の検討を行う。 作業を週5日行い月の出勤日数を早めに消化させることで予備日を増やす。

今後の取り組み方針

・猛暑時の出勤率向上に向けて休憩時間の延長を行うとともに、作業環境の改善を行い、作業効率の上昇を図る。
 ・天候不良による作業日数の減少が生じた場合は、月末に出勤日を増やすなど、計画通りの日数消化を目指す。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,635	23,635	18,908	4,727	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法については、見積もりを徴収し選定しており妥当であったと考えている。 ○予算規模について、3社以上見積もりを徴収し適正な価格で契約し適正であった。 ○費用・用途ともに必要最低限のものであり適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡名喜村
------	------

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	離島苦解消移動手段安定化対策事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ウ
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25~33年度	交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容
島民及び来島者の交通手段を安定的に確保するため、フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーを利用した場合の運賃を一部支援する

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	2,000	2,000	2,000	2,400	2,400
	(b) 予算現額	1,560	760	2,680	1,920	864
	(c) 増減額(b-a)	▲ 440	▲ 1,240	680	▲ 480	▲ 1,536
	(d) 繰越額	—				
	A. 計(b+d)	1,560	760	2,680	1,920	864
	B. 執行済額	1,560	760	1,344	1,920	864
	うち交付金充当額	1,248	608	1,075	1,536	691
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	50.1%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	運航事業者のヘリコプター墜落事故の影響により6月から11月にかけて、運航事業者の運航自粛に伴いフライト回数が減少したため、当初より1,536千円減額した。				

活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度	H31年度	R2年度	R3年度
観光客及び住民(フライト実施に係る支援回数50回)	目標	(50)	()	()	()
	実績	18			
達成状況説明	予定していたフライト回数は50回を目標としておりましたが、運航事業者のヘリコプター墜落事故の影響により6月から11月にかけて運航事業者の運航自粛に伴いフライト回数減につながった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	H31年度	R2年度	目標値(年度)	
		フェリーの欠航時等に代替手段となるヘリタクシーの運賃補助を行うことで、利便性が確保されると感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方をアンケートで検証する。	目標	()	(80)	()	()
		実績		98			
進捗状況説明	本事業の利便性のアンケートを実施したところ、満足度98%の結果となり、目標の80%以上を達成することができた。欠航時においても島民や観光客が沖縄本島への往来がスムーズになったことから、アンケートで良い結果となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・アンケートで「大変満足・やや満足・満足・満足していない」の回答に対し、「満足か満足していない」の2択しか回答を選択できないことから、アンケートの公平性について見直しが必要である。</p>	<p>・アンケートの回答項目を「大変満足・満足・普通・満足していない」と設定することにより、アンケートの公平性がより適正に行われ、今後の成果目標の正確性につながると考える。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>運航事業者への安全管理の徹底を図り、連絡調整を密に行い利用者の利便性向上に向けて、ヘリコプター利用者に対して運航情報の周知を行いながら、フライト回数の増加に努める。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	864	864	691	173	0
<pre> graph LR A[渡名喜村 864千円] --> B[補助金 864千円] B --> C[エクセル航空株式会社 864千円] C --- D[フライト料金の 6割補助] </pre>					

資金の 用途の 流れ 点検 評価 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・県内で民間ヘリ輸送を行っている業者はエクセル航空のみであり、業者選定・補助先については適正であったと考える。</p> <p>・フライト料金の6割を補助金交付する事としており、過去の欠航回数や周辺離島のフライト料金を吟味し適正に補助額を決定している。</p> <p>・予算規模については、補助基本額の範囲内であり適正であった。</p> <p>・受益者負担、費用、用途については補助金交付規則に沿って適正に執行される。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡名喜村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 児童・生徒の教育活動助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(2)-イ		
	担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26年~33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容		村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習へ参加する児童・生徒に対し、船賃及び宿泊費等の補助を行う。					
効果発現年度		<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
		(a) 当初予算額	1,284	1,284	1,027	1,866	4,564
	(b) 予算現額	313	1,284	470	1,589	2,222	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 971	0	▲ 557	▲ 277	▲ 2,342	
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	313	1,284	470	1,589	2,222	
	B. 執行済額	313	422	300	275	360	
	うち交付金充当額	250	336	240	220	287	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	32.9%	63.8%	17.3%	16.2%	
予算の状況の説明		台風及び年度末の季節風等の悪天候の影響により、本村唯一の交通手段であるフェリーの欠航が発生し、児童・生徒の島外での教育活動への派遣回数が減少したことにより不用額が1,862千円生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	スポーツ大会参加 (小学生34名中学生40名)	目標	(小26名 中56名)	(小15名 中40名)	(小24名 中37名)	(小34名 中40名)	
		実績	小18名 中30名	小15名 中18名	小16名 中9名	小24名 中18名	
	文化発表会等その他 (小学生16名中学生10名)	目標	(小16名 中17名)	(小16名 中13名)	(小17名 中10名)	(小16名 中10名)	
		実績	小21名 中17名	小23名 中7名	小12名 中3名	小12名 中3名	
	交流学習 (小学生16名中学生5名)	目標	(小13名 中9名)	(小15名 中8名)	(小17名 中10名)	(小16名 中5名)	
実績		小18名 中2名	小15名 中8名	小10名 中7名	小17名		
達成状況説明	村外での教育諸活動(スポーツ・文化)及び交流学習への参加する児童生徒に対し補助を実施した。(小学校5回、延べ人数53名、中学校6回、参加延べ人数20名、合計延べ人数73名)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで、児童生徒の視野が広がったとの回答割合(80%以上)	目標	()	()	(80%)	(80%)	(80%)
		実績			100%	100%	
			()	()	()	()	()
進捗状況説明	申請した保護者へアンケートで、児童・生徒が島内で出来ない経験をすることができたとの回答割合80%以上を達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	台風などの天候不良により、大会への派遣が困難となる事態が生じた。	天候不良が見込まれた場合、日程を前倒して派遣するなどの手法を検討する。

今後の取り組み方針

夏場の台風、冬場の季節風等を勘案し、天候の安定している前日に派遣を行うなど、毎年計画している派遣事業の全ての大会等に児童・生徒が参加できるように取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
360	360	287	73	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先は要項に従って選定されており、適正であった。 ・予算額については、不用額が出ているが、天候等の影響による事業中止を考慮する等のやむを得ない理由によるものであり、事業費の見直しを図るなどをおこなっており、適正であった。 ・補助金の用途については、要項に従った経費であるか等について書類等により確認し、適正であることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

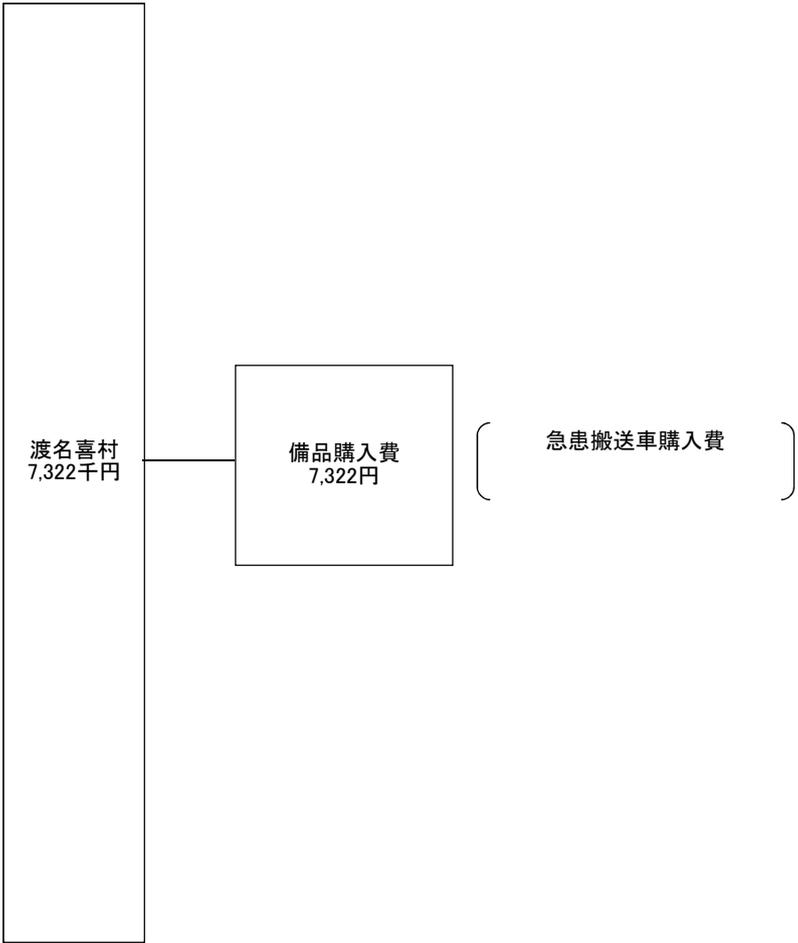
市町村名		渡名喜村						
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-① 渡名喜村急患搬送車整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章2-(3)ウ			
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度	平成30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県民ニーズに即した保健医療サービスの推進		
事業内容	村民、患者及びその家族、消防団員等の新車両購入による迅速な急患搬送出動態勢の強化及び車両装備の充実化の満足度を向上させるため、急患搬送車の新車両の購入を行い、急患搬送態勢体制の強化を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,137					
		(b) 予算現額	7,323					
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,814	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	—					
		A. 計(b+d)	7,323	0	0	0	0	
	B. 執行済額		7,322					
	うち交付金充当額		5,857					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		4月の当初の予算では見積もりにより11,137千円を計上したが、6月に再度見積もりを取り直したところ、設計金額は9,672千円となり、当初より1,465千円下がった。7月に入札を行ったところ、入札落のためさらに金額は下落し、契約金額及び最終的な執行額は7,323千円となったため、H31年3月の最終補正で不用額の3,814千円を減額し、最終的な予算額は執行済額と同じ7,323千円となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	H31年度	R2年度	R2年度		
	急患搬送車の整備	目標	(1台)	()	()	()		
		実績	1台					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	工程的には7月に契約し、完了は次年の3月まで期間を要したが、目標どおり年度内で急患搬送車を1台整備した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H31年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	村民並びに患者及びその家族、消防団員等への急患搬送車購入後の急患搬送態勢についてのアンケートによる評価(満足度調査で「満足した」と答えた割合)	目標	()	(80%)	()	()	()	
		実績		100%				
	【参考指標】 救急搬送車出動回数(年度) (救急搬送日誌簿による集計値)	目標	()	(100)	()	()	()	
		実績		1				
進捗状況説明	H31年度の実績では1となっているが、これは事業導入後平成31年4月及び令和元年5月にかけての新型急患搬送車の出動回数が1回であったためであり、今後の6月以降の集計は範囲外であったためである。このアンケートの結果から、事業の目的である新型車両を購入することにより、迅速で充実した急患搬送態勢をを図ることができたと考える。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(村民並びに患者及びその家族、消防団員等への満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新車両については旧車両と比較すると、車内後部のクーラーや、車内灯の装備の強化等により、利用者にとって満足度の高い内容の車両となったと考える。 <p>(出動回数)</p> <p>車両整備後も新車両導入の新装備に慣れる訓練を1回行っており、何時急患搬送が起こっても対応できるように消防団員で訓練をした結果、急患発生時に導入車両を用いて100%の出動態勢を実施できている。</p>	<p>(村民並びに患者及びその家族、消防団員等への満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標としている満足度80%を実現するには、急患搬送車両を用いた迅速な急患搬送態勢が必要であり、消防団員の日ごろの訓練によることも利便性につながると思われるので、車両の機器等の使用方法等について消防団員は熟知する必要がある。 <p>(出動回数)</p> <p>導入した車両は大型であるので、道幅が狭い箇所での出動依頼などにおいては、他の小型車両を使用する場合も出てくると思われるが、可能な限り今回整備した車両を活用して狭い道でも運転できるようにするために、消防団員は運転技術を訓練する必要がある。</p>

今後の取り組み方針	
<p>(村民並びに患者及びその家族、消防団員等への満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標としている満足度80%の実現に向け、引き続き車両の装備の充実や消防団員等による車両の機能の使用訓練を行い、今後の急患搬送態勢の機能強化を図る。 <p>(出動回数)</p> <p>今後も新車両の出動回数を100%とするため、車両の運用について消防団員等で確認を行い、可能な限り車両を活用して救急体制の機能強化に繋げる。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,352	7,322	5,857	1,465	30



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で厳正に選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算の規模については入札による下落もあり、残りの予算額についても最終補正で不用額としたため、妥当であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途ともに必要最低限のものであり適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途ともに必要最低限のものであり適正であったと考える。

市町村名		渡名喜村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	渡名喜村フォトツーリズム事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成30年~32年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	フォトツーリズム事業を実施するためのフォトガイドブック及びPRツールの作成。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(32 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		7,777				
			7,777				
			0				
			-				
			7,777				
	B. 執行済額		7,777				
	うち交付金充当額		6,221				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		予算額にてプロポーザルを実施し、委託にて契約し当初通り支出済み。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	H32年度		
	ガイドブック	目標	(1種5,000部)	()	()	()	
		実績	1種5,000部				
	ポスター	目標	(3種300枚)	()	()	()	
		実績	4種60枚				
	テーブルクロス	目標	(3種6枚)	()	()	()	
		実績	3種3枚				
	タペストリー	目標	(4種8枚)	()	()	()	
		実績	4種4枚				
配布ルート提案書	目標	(1種)	()	()	()		
	実績	1種					
達成状況説明	ポスター及びテーブルクロスの枚数が当初の内容からは変更になっている。 ポスターについては、当初3種類であったが、サイズの違う1種類を追加することでPRの幅が広がると考え4種に変更。それに伴い枚数を調整。テーブルクロスについても、屋外の使用も視野に素材を変更し枚数を調整した。 より効果的にPRを行うための変更であり、事業の推進上は問題ない。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	H31年度	H32年度	目標値(32年度)
	PRツールの作成及び納品	目標	()	(5種)	()	()	()
		実績		5種			
	フォトツーリズム関連の観光客数	目標	()	()	()	()	(25人以上)
		実績					
進捗状況説明	今回はPRツールの作成を成果目標としており、納品まで完了している。 最終的な目標として設定している年間観光客数については今後集計を行い確認していく予定。						

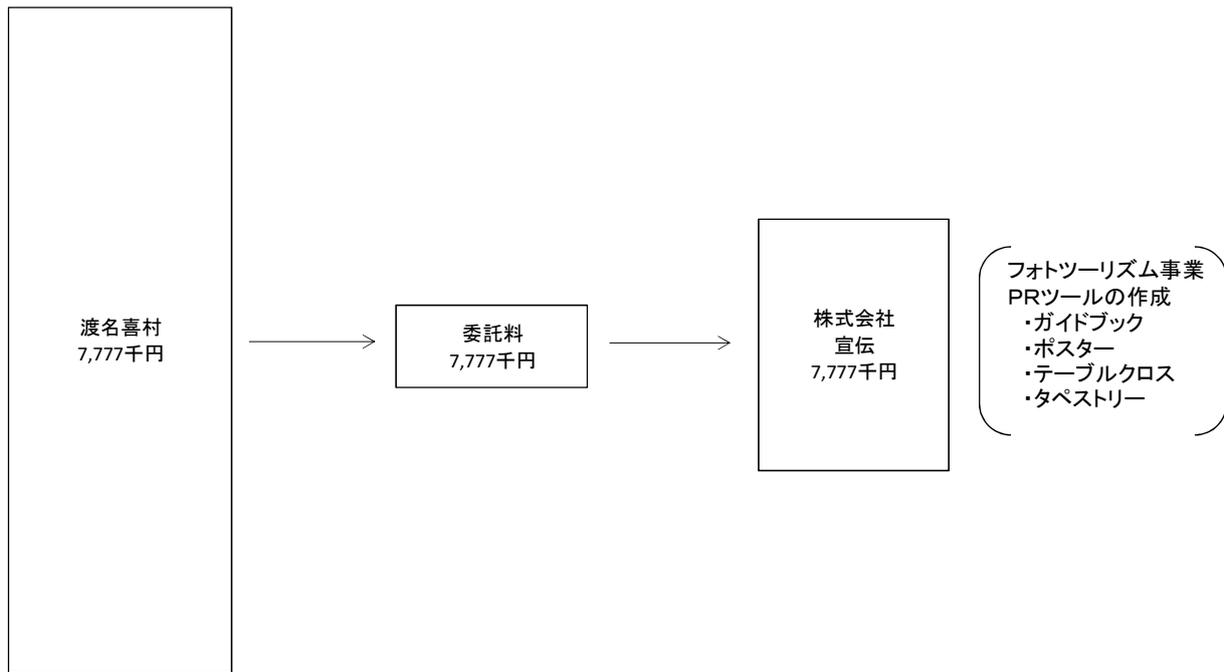
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度についてはガイドブック等の作成が活動目標であったため、PRを行うことができなかった。次年度以降はカメラ好きというピンポイントなターゲットに届くよう、より効果的なPRを行う必要がある。	・効果的なPR方法の検討 PRについて、フォトツーリズムを通して渡名喜島を知ってもらうことと共にカメラ好きの観光客を誘客に結びつけられるような取り組みも行っていく。

今後の取り組み方針

今回作成したツールをもとにイベント出展等を中心にPRを行っていくが、それ以外にも効果的なPR方法を検討しながら実施していく。
32年度成果目標として挙げているフォトツーリズム関連の年間観光客数をアンケートに盛り込むなどして進捗状況を早めに把握しながら事業計画へ反映させていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,777	7,777	6,221	1,556	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法については、事業内容が競争入札には適さない と判断したためプロポーザルを実施しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について、3社以上見積もりを徴収し適正な価格 で契約し適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については実施中の協議も十分に行い、精算 段階でも検査を実施していることから費用・用途ともに必要 最低限のものであり適正であったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		渡名喜村					
平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)	
担当部署名	民生課	事業実施(予定)年度	平成26～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10(2)、Ⅲ-9、Ⅲ-4	
事業内容	子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,188	103,431	650,287		—
		(b) 予算現額	20,304	158,260	667,904		9,634
		(c) 増減額(b-a)	▲ 884	54,829	17,617	0	9,634
		(d) 繰越額	—	—	—		—
	A. 計(b+d)		20,304	158,260	667,904	0	9,634
	B. 執行済額		20,304	96,433	194,378		9,072
	うち交付金充当額		16,243	77,146	155,502		7,257
	次年度繰越額		—	61,680	473,526		—
	執行率(%) (B/A)		100.0%	60.9%	29.1%	#DIV/0!	94.2%
予算の状況の説明		当初、予算は計上されていなかったが、6月の1号補正で予算9,634千円を計上した。不用額562千円については委託の入札残などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	
	多目的拠点施設備品購入	目標	(備品購入の実施)	()	()	()	
		実績	備品購入の完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・11月に入札を行い契約し、年度内に予定通り備品の購入をすることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H31年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	多目的拠点施設の運営体制の構築完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・年度内に備品の購入が完了したことから、多目的拠点施設の運営体制の構築が完了した。					

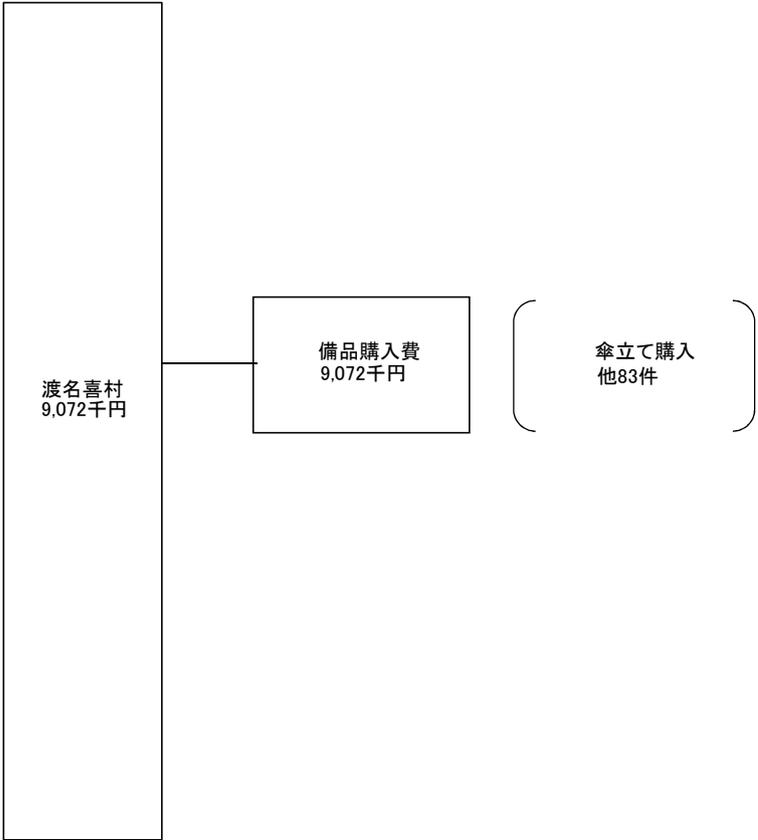
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・子ども預り所や老人福祉施設等に必要な備品を揃えることにより、今後の活用に期待できるが、備品の管理が不十分である。</p>	<p>・備品を管理するにあたり、備品管理台帳を作る必要がある。また、備品にラベルを張り付けるなど、備品の所在や使用者を把握できれば、備品の私物化の防止につながる。</p>

今後の取り組み方針

・定期的に備品の状態を確認する。使おうと思ったときに故障・破損が発見されれば、使用できなくなり、修理費用が発生してしまう。また、定期的に備品の棚卸を行い、台帳に記載されている内容と現実の備品の差異がないかを確認する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,072	9,072	7,257	1,815	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適切な設計により必要最小限の価格で予算措置をしており適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途ともにこの事業での必要最低限のものであり適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	